

特別企画展 「武良茂(水木しげる)の人生」

会 期： 令和5年10月25日(水)～令和6年3月3日(日)

内 容： しょうけい館ではこれまで継続的に水木しげるさんの戦争体験とその労苦を紹介する企画展を実施してきましたが、今回の移転に合わせ、新たな資料も加えて再構成し、展示開催しました。

協 力： 株式会社水木プロダクション

タイトルバナー



展示の様子



展示の様子



義手と仕事

～戦争で手を失った戦傷病者～

開催主旨

本展は、義手を使用していた戦傷病者の労苦を、仕事面に焦点をあてて紹介するものです。

戦争での負傷が原因でやむなく手や腕の切断をし、義手をつけて生活を送ることになった戦傷病者は、どのように義手を自分の手としていたのでしょうか。

当たり前のように動かすことのできた手が、戦争によって失われしまい、その喪失感と向き合いながら、義手を自分の手として使い慣れるまでには、血のにじむような努力が必要でした。

今回は、義手をつけて日常生活の動作に慣れ、義手で仕事をするまでの道のりと、戦傷病者それぞれの仕事、場面場面での気持ちなどを証言や手記を通して見つめます。

主催	しょうけい館(戦傷病者史料館)
会期	令和6年3月5日(火)～6月2日(日)
会場	しょうけい館 2階企画展示室
入館料	無料
開館時間	10:00～17:30(入館は17:00まで)
休館日	毎週月曜日・4月30日(火)・5月7日(火) ※4月20日(月)、5月6日(月)は開館
内覧会	令和6年3月5日(火)10:00～11:00 ※報道関係者向け・要申込
問い合わせ先	しょうけい館 TEL:03-3234-7821 担当:半戸

展示構成

義肢の種類と機能

ここでは、義手の種類、機能、手や腕の動きなどを紹介します。

義肢には、失った手足そのものの外見を補うための装飾用義肢と、手足の動作を場面ごとに補うための作業用義肢などがあります。

手や腕の動作には、つかむ、握る、押さえる、持つなどの複雑な動きがあり、私達は状況や場面に合わせて、複雑な動きを手、手首、腕などで自然に使い分けています。これらの動きを義手がおこなうために、義手にはさまざまな種類と機能があります。



装飾用義手

装飾用の義手は、元の手や腕の形に似せた義手で、肉付きや色、指の細やかな造形などに優れています。親指や手首の部分が動かせるようになっているものもあります。



作業用義手

先端のパーツを取り換えることで特定の動作ができる義手です。先端のパーツには、モノをつかむ、押さえる、引っ掛けるなど、様々なものがあります。

戦傷病者と義手と仕事

ここでは、戦傷病者から寄贈された義手と、使用していた仕事での場面を中心に紹介します。また、義手を使わないで働いた戦傷病者、義手からは見えない戦傷病者の労苦についても、本人の言葉などから紹介します。

戦争で手や腕を失い、病院での治療、リハビリを経て義手を使う訓練を重ね、仕事に就くまでには、血のにじむような努力が必要でした。どのように困難と向き合い、乗り越えていったのかを見つめます。



作業用義手

この義手は、農家だった方の義手です。手を失った時はこの先どうやって生きていこうか思い悩んだといいますが、厳しい病院でのリハビリを経て、何でも一人でこなせるようになったといえます。



作業用義手

この義手は、洋裁仕立師だった方の義手です。戦時中に洋裁の技術を学び、洋服店へ就職、その後自営の洋裁仕立業となりました。この義手の先端は布が押さえられるようになっています。



能動義手

この義手は、電気工事士だった方の義手です。当初は作業用義手を使っていましたが、より仕事の性質に向いている能動義手を使うようになりました。この義手のおかげで、必要な資格を取ることができました。



装飾用義手

この義手は、事務員だった方の義手です。右腕の付け根から切断しているのですが、義手でモノを持ったりすることはできませんが、身体のバランスを取るために必要なものでした。



装飾用義手

この義手は、たばこ屋を営んでいた方の義手です。右腕、右脚を切断する大怪我を負ったため、自宅でも開業できるたばこ屋を始めたものと思われます。



装飾用義手

この義手は、公務員だった方の義手です。戦後、働いていた軍需工場が閉鎖され失職してしましますが、根気強く就職活動を続けて公務員となりました。

映像上映

内容:企画展に関連する映像を上映します

場所:しょうけい館 2階シアター

途中入退室自由

団体プログラム等によって、上映内容を変更・休止する場合があります

	映像タイトル	時間
10:00 }	人間の尊厳の回復につくした生涯★	33分
11:00	ただ一回の「ほめことば」	23分
11:00 }	受傷が変えた人生～苦悩、そして挑戦～★	19分
12:00	小学校を出て先生に★	16分
	片手のハンディを乗り越えて	18分
12:00 }	気配りが生んだ「転ばぬ先の杖」★	19分
13:00	働くために義手を★	15分
	抑留中に右手を失って	19分
13:00 }	人間の尊厳の回復につくした生涯★	33分
14:00	ただ一回の「ほめことば」	23分
14:00 }	受傷が変えた人生～苦悩、そして挑戦～★	19分
15:00	無いものは無い、それでもやるほかない…	19分
	片腕で取った自動車免許	19分
15:00 }	働くために義手を★	15分
16:00	16歳で右手を失って	15分
	遠くなってしまった傷心の日々	13分
	言葉に出せなかった母への感謝	15分
16:00 }	短歌に心を映して	14分
17:00	失意の時に届いた一通の手紙	17分
	左腕一本で家族を支えた父	15分

・★のついた証言者の義手は、本企画展で展示しています。

・各証言映像は上映時間以外でも、情報検索端末で視聴できます。